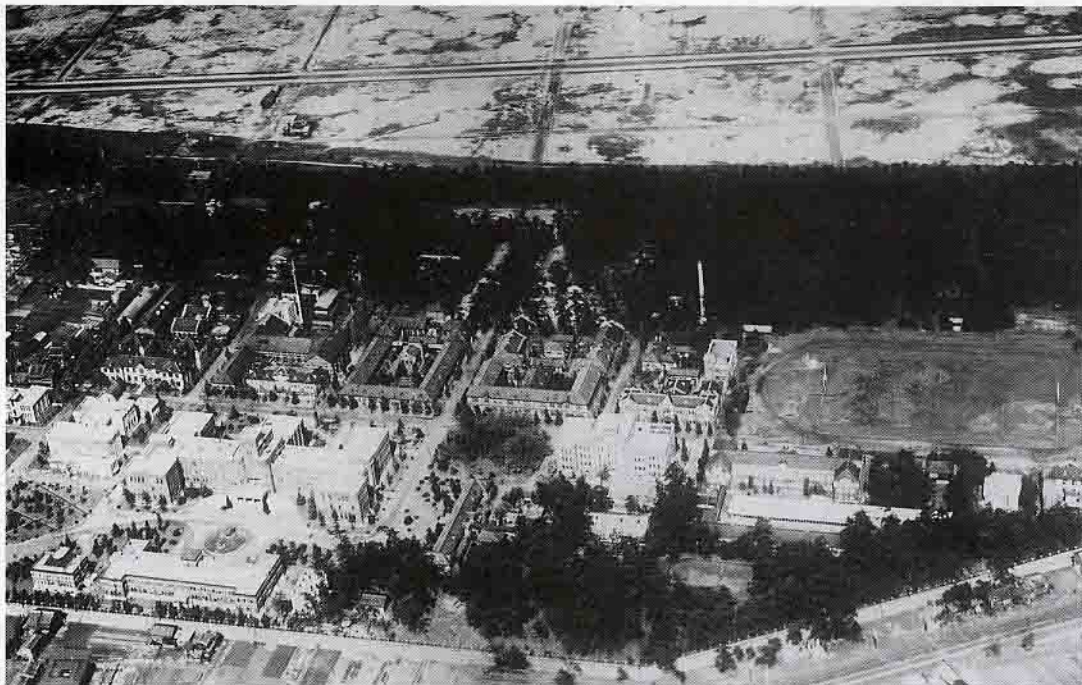


九州大学 大学史料室ニュース

第10号 1997. 9. 20.

目 次

大学史料室の今	2
九州大学関係者著書等目録	4
九州大学史料収集・保存に関する委員会名簿	6
九州大学大学史料室名簿	7
受贈図書一覧	7
大学史料室日誌抄録	7



昭和11年の工学部地区

昭和11年（1936）は、明治44年（1911）1月に九州帝国大学が創設されてから、ちょうど25周年目にあたった。九州大学は同年11月6、7、8日の3日間、創立25周年記念行事を挙行したが、上の写真はこの時に作られた記念絵葉書のなかの1枚である。写真左側には昭和5年（1930）11月に落成した工学部本館が、上方には埋立地を走る現在の国道3号線が見えている。また写真右側には、建物の増築により、今ではほとんど消滅してしまった工学部グラウンドの姿が見える。

大学史料室の今

新谷 恭明

大学史料室が開設されてから5年になります。この「大学史料室ニュース」も10号をかぞえることになりました。私は初代室長の松下志朗教授(経済学部)、二代目の有馬學教授(比較社会文化研究科)の下で史料室の運営のお手伝いをして参りましたが、有馬教授が急きょ比較社会文化研究科長に就任されることになられたため、この5月より室長を務めることになりました。現在、大学史料室は大きな転機をむかえようとしています。先任のお二人の室長ののこされた足跡の上に新たな史料室の歴史を積み上げていかなければならないと思います。

九州大学大学史料室は1992年12月に九州大学75年史編集室の改組というかたちで発足いたしました。大学の正史を綴るといふことはこの大学がいったいどういう大学であり、社会的にいかなる存在であるのかを鮮明にし、これからどうあるべきかを考える自己確認を行うことです。にもかかわらず、それを示す証がのこされていくシステムがこれまで本学を含めて国立大学には全くありませんでした。『九州大学七十五年史』の編集作業の

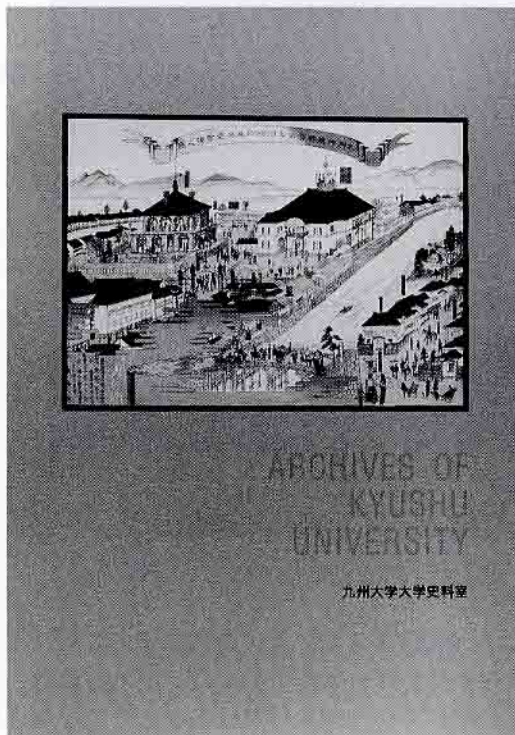
中でもっとも痛感したのはそうした大学自身の教育・研究・運営の記録保存が組織的に行なわれていないということでした。知の記録を軽視することは知の未来に対して責任をもてないということでもあります。

九州大学75年史編集事業が最終段階に入りつつあったときに、編集委員会内部でそうした大学のアイデンティティを確かなものとする場としての大学文書館(大学アーカイブス)を創るべきではないかという議論が起きました。松下志朗編集委員長の意を受けて編集委員会小委員会では『九州大学史料の収集・保存について—九州大学史料室設置の提言—』をまとめ、この報告書の内容を具体化するかたちで大学史料室の設置が認められたと私は理解しています。大学史料室はこれからもこの原点に立って活動をすすめていかなければならないでしょう。

本学では九州大学史料収集・保存に関する委員会(現在37名。以下「委員会」という)が史料の調査、収集、整理、保存、活用に関して責務を負っていますが、大学史料室はその下に位置づけられています。恒常的には委員会の中から指名された専門委員会(現在8名)が運営にかかわる審議を行なっています。ところで大学史料室は学内措置としての施設であるため定員はありません。そのため室長は委員会の委員長が兼務し、室員(専任講師1名)には運用定員を充てるかたちで運営されています。ほかに事務補佐員1名がいるのみという人的には厳しい状態にあります。さらに室員とともに業務を行なうために兼任教官が置かれ、現在6名の兼任教官が任命されています。

大学史料室の業務は、その規則によれば①史料の収集、整理及び保存、②史料の調査・研究、③史料の利用、の3点があげられます。

史料の収集は一定の文書収集・保存システムの中で行なわれるのが基本です。大学史料室ではまず九州大学大学史料室印刷物収集・整理・保存要項にしたがって「教職員、学生、市民等に対し周知する目的をもって」国費により作成された印刷物はすべて大学史料室に送付することとしており、着々と各部局からの印刷物が集まっています。日ごろは何げなく見過ごしたり、用が済めば無用と



ARCHIVES OF KYUSHU UNIVERSITY
九州大学大学史料室(パンフレット)

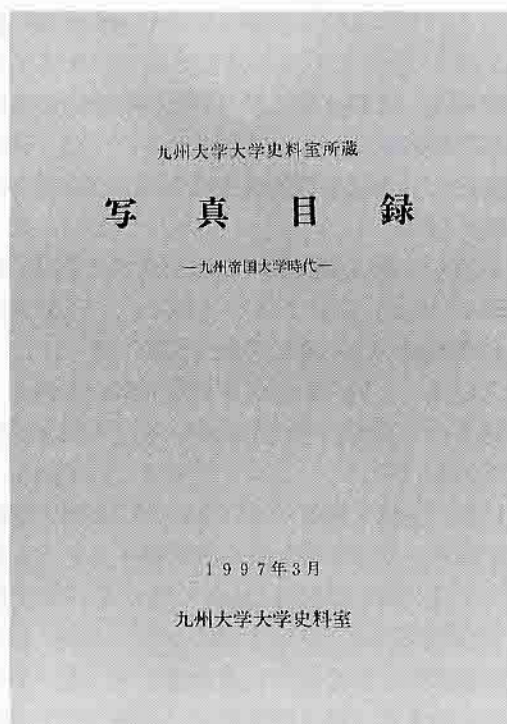
なってしまう印刷物であっても大学史料として系統的に整理されるならば貴重な九州大学の足跡をしめす素材となります。

現在、事務局総務部の非現用文書を受け入れていますが、今後学内の非現用文書を受け入れるシステムを確立していく方策が求められているところです。また、九州大学の知的遺産の多くは教官の叡智の積み重ねによるものです。そうした叡智を九大の知的遺産として記録していくという意味で大学史料室では退職教官や名誉教授の方々からの史料の寄贈をお願いしています。それらの方々には九州大学の研究・教育・管理のあらゆる側面にかかわってきていますので、非常に重要な史料として大学史料室のかけがえのない財産となっていきます。いずれにしても多くの方々の厚意の中で史料収集が行なわれている段階ですので、非現用文書が大学史料室にスムーズに収蔵されていくシステムが確立される必要があります。

現在、大学史料室には九州大学75年史編集室から引き継いだものを含めて総数で約10万点の史料を所蔵しています。それらの情報を学内・学外に対して提供することも大学史料室の業務のひとつです。これまで事務局、教官、研究者や学生、市民やマスコミなどに、それぞれのニーズに応じた情報提供をしまりました。また、調査・研究の成果をこの「大学史料室ニュース」、『大学史料叢書』（第1輯～第5輯）、各種の目録（合計7冊）などというかたちで定期的に刊行しています。

さらに大学史料室では平成8年度に「九州大学における“古写真”の調査・研究」の研究課題で教育研究学内特別経費（研究代表者折田悦郎専任講師）が交付され（報告書＝右写真）、平成8・9年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））を「大学と地域社会の関係史に関する基礎的研究—九州帝国大学を中心として」の研究課題名で受けています（研究代表者新谷恭明、ほか専任・兼任教官6名を含む学際研究）。このように大学史料室では全学的な学際共同研究にも積極的に取り組んでいます。

ところで昨今の学生は偏った進学指導のせいかわ偏差値なるものでのみ大学の評価をしているようです。それゆえに九州大学の学問的伝統について無知であり、そのことが母校に対するアイデンティティの喪失や学問に対する憧憬・畏敬の念の欠如の原因になっています。そこで大学史料室では今年度後期より試行的に低年次における九州大学史の授業を始めることにしました。さらに兼任教官と教育学部及び大学教育研究センターの教官で、



九州大学大学史料室所蔵
写真目録—九州帝国大学時代—

そのためのカリキュラム開発の研究をすすめる計画を立てています。ゆくゆくは九州大学史の学生用教科書やコンピューターネットワークによるデータベースの提供などを大学史料室から発信していきたいと考えています。

最初に述べましたように九州大学大学史料室は大学文書館（アーカイヴス）をめざして設置されました。文書館というのは公文書館法という法にもとづき、史料管理学という学問的裏付けをもち、アーキビストという専門職員を置くという点で図書館や博物館とはちがった存在です。ですから大学文書館は大学の中にあっては図書館、博物館などと並ぶ独立した大学の情報センターであるべきです。そのために九州大学史料収集・保存に関する委員会では昨年まで単独で大学文書館の設置を要求してきました。その夢はなかなかかないませんが、九州大学大学史料室は国立大学の文書館をめざす組織の中ではもっとも目標に近い存在であるとこれまでの実績から自負しています。

最後になりましたが、本号には「九大関係者著書等目録」を掲載していますが、まだまだ収集が思うようにいっていません。そのことも含め大学史料室の活動と発展のためには九州大学に身をおく教官・事務官の方々の協力が必要ですので、お力添えのほどをよろしくお願いいたします。

（大学史料室長／教育学部教授）

九州大学関係者著書等目録

- 青峰重範 古稀を迎えて 1982/晴庭雨机 1985
/落穂 1989
- 青山道夫 追想の青山道夫(大原長和, 黒木三
郎編) 1979
- 秋重義治 秋重義治教授還暦記念研究業績目録
1964
- 秋山六郎兵衛 不知火の記 1968
- 秋吉久紀夫 近代中国文学運動の研究 1979
- 阿久根了 昆虫の生化学 阿久根了教授退官記
念講演集 1971
- 天児民和 無常迅速 天児民和(林道雄著) 1980
- 荒川文六 FUKUOKA UNESCO 第3号荒川
文六先生米寿記念特集 1966/父・荒川文六(荒
川信生著) 1971
- 池見西次郎 身心一如の健康法/セルフ・コン
トロールと禪(池見西次郎, 弟子丸泰仙著) 1981
- 石川捷治 第1回政治史・外交史ゼミナル卒
業記念論文集 1979/石川ゼミナル政治論文
集 第2号~第18号 1980~1996
- 石橋信彦 有明の海遙かに 1992
- 今井 弘 今井教授記念論文集 1958
- 今中次麿 今中次麿(竹原良文編) 1982
- 入江英雄 入江英雄随想集 あけぼのつつじ
1976/何でも語ろう 1979/この1年 1970/私
をめぐるとの一年 1970/大学改革に関する方
策/雑念無想 入江英雄聞書(林道雄著) 1987
- 岩本 桂 NUFSA News letter 1994
- 岩本 栄 岩本栄業績集
- 大島直治 大島直治先生追想録(麓啓一郎編)
1970
- 大野克郎 大野克郎先生論文集 1997
- 大森治豊 大森治豊先生を偲ぶ(中野健〔ほか〕
著) 1985
- 岡 増一郎 マイツ断章 1995/岡増一郎教
授業績目録 1995
- 岡橋 保 現代信用理論批判 1987
- 岡村 繁 生命のかがり火(ティムール・グワ
マイテ著; 岡村繁訳) 1994
- 岡本正幹 筋肉運動の練習効果としての筋肉内
化学的成分変動に関する研究, 主として伝書鳩
に就て 1943
- 奥田 譲 食物栄養論 1923
- 小野勇一 サバンナの生きものたち 1980
- 加地正郎 かぜ・ウィルス・人 1989
- 甲木伸一 初等力学 1995/初等力学演習150題
1989/固体表面の物理(吉森昭夫〔ほか〕編)
1992/SURFACE AS A NEW MATERIAL
(edited by A. Yoshimori [and others]) 1990
/TECHNICAL REPORT A MANUAL OF
THE MSX α PROGRAM 1980
- 上尾龍介 留学生たちの日本 1984
- 上村卓也 めまいとその周辺 1992
- 川崎敏男 川崎敏男教授退官記念誌 1984
- 川島健治郎 川島健治郎教授退官記念誌 1995
- 川添昭二 九州大学退官記念 略年譜・著作目
録・回顧 1990/女性の帝国大学入学について
1993/解題・序跋集 回顧・略年譜 著作目録
1997
- 河田政一 歌と絵 南公園 1981/随想集閑雲
野鶴 1982/迷路金印考 1983/帽子 1979/異
物抽出法のメッカ、フライブルク 1983/一土
日祭日-私はこう過ごす 1979/郵便 1979/書
画是雅事 1983
- 河村幹雄 名も無き民のこゝろ(河村英雄編)
1934/河村幹雄全集 第1巻 1945/河村幹雄
博士遺稿 1933/河村幹雄博士遺稿抄 附河村
先生の思い出 1962/河村幹雄博士の生涯とそ
の思想(榎本隆一郎著) 1980
- 神田慶也 マレル量子化学 (edited by J. N.
Murrell [and others]; 神田慶也訳) /Selected
Papers of Yoshiya Kanda 1982/負のエント
ロピーの世界 1993
- 北川敏男 科学計画への道 1970
- 具島兼三郎 どん底のたたかい 1980
- 久木田龍介 箱崎地区における学生の住まいの
変容 1993
- 久保猪之吉 久保教授還暦祝賀記念会記録 1934
- 栗山 熙 栗山熙教授退官記念業績集 1992
- 高 壮吉 九州大学理学部地球惑星科学教室所
蔵高壮吉鉱物標本について 1971/高壮吉鉱物
標本(白水晴雄〔ほか〕著) 1971
- 古賀敏生 古賀敏生教授退官記念業績集 1996
- 小嶋正治 九州大学小嶋正治教授退官記念業績
集 1989
- 権藤與志夫 21世紀をめざす世界の教育 1994
- 斎藤文男 ちびた鉛筆 1992
- 坂井 渡 至誠之人 坂井先生 1977
- 櫻井恒次郎 櫻井博士講演録 1919

- 佐藤 裕 ベルツ (Erwin Bälz) と大森治豊の写真 1995/上山紀行：九州大学創設者大森治豊の出身地を訪ねて 1995/アインシュタインの記念すべき忘れ物：“ア”博士と第一外科開祖三宅速との交友に関連して 1997
- 沢田収二郎 日本農業の技術進歩 1973
- 篠原謹爾 流れのままに 1975
- 正田誠一 九州石炭産業史論 1987
- 末次恒夫 末次恒夫教授退官記念業績集 1997
- 清山哲郎 化学センサー (清山哲郎〔ほか〕編) 1982/金属酸化物とその触媒作用 1985/フローチャート上のらくがき 1994/化学 One Point 16 化学センサ 1992/玄海水族翰 第1号～第30号 1985～1993/玄海余滴 1985～1993/金属酸化物及其催化作用 1991/清山哲郎論文集XI 補遺 3 /清流虹 1995/Chemical Sensor Technology Vol.1,2 1988,1989/Proceedings of the International Meeting on Chemical Sensors (edited by T.Seiyama (and others)) 1983
- 関口睦夫 研究春秋 関口睦夫教授退官記念誌 1996
- 柚 正夫 フランス総選挙を現地にて
- 大工原銀太郎 農学博士大工原先生論文集 1931
- 高尾征治 脳内パラダイム革命がもたらす新しい宇宙生命像 1996
- 高木健太郎 高木健太郎の生涯 (太田恵子著) 1994
- 高木幸二郎 恐慌論体系序説 1956
- 滝沢克己 窮状打開の道について 1968/訴えと提案 1969/本部バリケード封鎖について全学の教職員学友諸兄に訴える 1969/笠原初二遺稿集 なぜ親鸞なのか 1984/私の大学闘争 1974/人間の「原点」とは何か 1975/米機問題をめぐる省察と祈願 1969/大学革命の原点を求めて 1969
- 高田源清 明治の敢言
- 高田保馬 高田保馬博士の生涯と学説 1981
- 高千穂宣麿 鶯嶺仙話 1946
- 高橋 清 現象速度に追従する可変速機能をもった高速度撮影装置の開発 (高橋清, 馬田俊雄著) 1987
- 高橋正雄 マルクスとケインズの対話 1975/八方破れ私の社会主義 1980
- 武谷 廣 武谷教授還暦祝賀会記録 (宮入慶之助〔ほか〕著) 1935/武谷先生を偲びて 1935
- 竹下健次郎 光流の囁き 1983
- 田代英雄 田代英雄教授退官記念 九州大学歯学部口腔外科学第1講座業績目録 1994
- 立石 潤 立石潤教授退官記念業績集 1996
- 田中健藏 田中健藏教授在職20年記念業績目録集 1983
- 田中 定 ある学者の軌跡 (松浦正高著) 1982
- 田村圓澄 田村圓澄著作目録 1980/田村圓澄先生年譜・著作目録 1987/太宰府の春 1987/滞韓雑抄 1971
- 戸田忠雄 戸田新細菌学 1967/戸田忠雄教授抗酸菌研究業績集 1963
- 鳥巢太郎 再審査 (鳥巢路著) 1982
- 中川哲也 中川哲也教授退官記念業績集 1992
- 中川佳英 礫 中川佳英随想集 1986
- 中楯 興 日本における海洋民の総合研究 1987
- 中村元臣 中村元臣教授退官記念業績集 1991
- 中山文夫 中山文夫教授退官記念業績集 1991
- 永澤 恒 永澤恒教授退官記念 九州大学歯学部歯科保存学第2教室業績集 1994
- 永田武明 永田武明教授退官記念業績集 1995
- 長沼賢海 恩師長沼賢海先生の思い出 (井上忠, 渡辺正氣編) 1993
- 西高辻信貞 学問の神様 1977/老樟のほとりで 1975
- 延永 正 延永正教授退官記念業績集 1994
- 橋本 策 徳徳 橋本策博士顕彰記念 1976
- 八田 秋 温泉治療の諸問題 1955
- 濱 正雄 激流に生きる濱正雄 (加藤敬二著) 1981
- 原田 溥 ドイツ社会民主党と農業問題 1987
- 檜垣元吉 檜垣文庫目録 中世編(除 肥前国関係)近世豊前国・筑後国編 1996/檜垣文庫目録 近世筑前国編 1996/檜垣文庫目録 近代福岡縣編 1996/檜垣文庫目録 和装本編 1996/檜垣文庫目録 佐賀縣編 1996
- 干潟龍祥 干潟先生と九大仏青 (伊原照蓮編) 1982/干潟龍祥博士白壽記念誌：生い立ちの記父のこと 略歴主要著作目録 1990
- 平塚益徳 追憶 平塚益徳博士 1982/DR. MASUNORI HIRATSUKA: A MEMORIAL VOLUME 1983
- 百武源吾 異色の提督 百武源吾 (石井稔編著) 1979
- 福島栄二 情報時代の農業 (福島栄二, 北川一栄著) 1971

- 古田鷹治 農政経済学科における四十五年の回顧 1991
堀 和郎 アメリカ現代教育行政学研究 1983
本江元吉 うたかた 1977
前川道郎 前川道郎退官記念講演・著作作品目録 1995
牧角三郎 法医一代 1984
町田三郎 町田三郎先生年譜・著作目録
松浦鎮次郎 松浦総長胸像除幕に際して (村岸義雄〔ほか〕著)
松尾春雄 学生に語る 1971
松倉保夫 ガウディニスモ 1984
眞鍋大覚 大地の雲映 1981
丸山孝一 現代タイ農民生活誌 1996
森 克己 森克己博士略年譜並著作論文目録
森 三十郎 憂憤録 1974
盛永俊太郎 私と農学 1980
矢田俊文 国土構造の日韓比較研究(矢田俊文, 朴仁鎬編著) 1996/国土政策と地域政策 1996
矢永尚士 矢永尚士教授停年退官記念 九州大
学生体防御医学研究所生気候学部門開講25周年記念業績集 1996
柳瀬敏幸 寸感集 1986
山川健次郎 男爵山川先生傳(花見朔巳編) 1939
山口宗之 あゝ若き日の栄光は 1988
山田龍雄 福岡地方史研究会会報 第26号 山田龍雄先生追悼号 1987
山藤一雄 生命化学 1974
山元寅男 山元寅男教授退官記念業績目録集 1990
脇坂順一 七十歳はまだ青春 1984/医人岳人 脇坂順一聞書(荒木久著) 1989
和田光史 私の土壌学研究:1950年代回顧 1996

〔凡例〕

著者・編者については、見出しの人名と異なる場合のみ、これを著書等の後ろの()内に記した。ただし、〇〇講座編や〇〇退官記念事業会編等、個人名でないものについては、省略した。

九州大学史料収集・保存に関する委員会名簿

- | | | | | | | |
|------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|
| 委員長 | 〇教育学部 | 教授 | 新谷 恭明 | 医 短 | 教授 | 布上 董 |
| 副委員長 | 〇農学部 | 教授 | 深尾 清造 | 医 病 | 教授 | 野瀬 善明 |
| 副委員長 | 〇石炭研 | 教授 | 東定 宣昌 | 歯 病 | 教授 | 池本 清海 |
| | 〇文学部 | 助教授 | 佐伯 弘次 | 生 環 研 | 助教授 | 北野 雅治 |
| | 〇法学部 | 教授 | 植田 信廣 | 熱 研 | 助教授 | 林 静夫 |
| | 〇経済学部 | 教授 | 荻野 喜弘 | 情 セ | 助教授 | 古川 善吾 |
| | 理学部 | 教授 | 青木 義和 | アイセ | 教授 | 大崎 進 |
| | 〇医学部 | 教授 | 多田 功 | 中央分析 | 助教授 | 坂下 寛文 |
| | 歯学部 | 教授 | 坂井 英隆 | 遺伝情報 | 教授 | 服巻 保幸 |
| | 薬学部 | 教授 | 前田 稔 | 留 セ | 助教授 | 清水 百合 |
| | 工学部 | 教授 | 萩島 哲 | 有化研 | 助教授 | 菊池 純一 |
| | シ 情 | 助教授 | 正代 隆義 | 大 教セ | 助教授 | 長野 剛 |
| | 〇比文研 | 教授 | 有馬 學 | 先端セ | 助教授 | 中島 寛 |
| | 数理研 | 助教授 | 福本 康秀 | 大 型 | 教授 | 廣川佐千男 |
| | 総理工 | 教授 | 中島 秀紀 | 図書館長 | | 小山 勉 |
| | 生医研 | 教授 | 木村 元喜 | 副学長 | | 柴田洋三郎 |
| | 応 研 | 教授 | 高橋 清 | 事務局長 | | 板橋 一太 |
| | 機能研 | 教授 | 小山 繁 | | | |
| | 健 セ | 助教授 | 冷川 昭子 | | | |
| | 言 文 | 助教授 | 金子 暢良 | | | |

〇は専門委員会委員
(1997年6月30日現在)

九州大学大学史料室名簿

室長	教育学部	教授	新谷 恭明	兼任	経済学部	教授	荻野 喜弘
室員		講師	折田 悦郎	"	比文研	教授	有馬 學
兼任	文学部	助教授	佐伯 弘次	"	石炭研	教授	東定 宣昌
"	法学部	教授	植田 信廣	事務補佐員			山本 華子

受贈図書一覧 (1997年1月～6月)

校史 ARCHIVES OF KOKUGAKUIN UNIV Vol.4 國學院大學校史資料課	1997. 2	けむり句会史料 一箱 青陵会
立命館百年史紀要 第5号 立命館百年史編纂委員会	1997. 3	箱崎中学校創立50周年記念誌 箱崎中学校創立50周年記念実行委員会
同志社談叢 第17号 同志社社史資料室	1997. 3	家蠶系統表 1954 九州大学農学部蚕学教室
新島襄のアメリカ時代 同志社社史資料室	1997. 4	九州大学農学部附属農場75周年誌 九州大学農学部附属農場
檜垣文庫目録 中世編(除 肥前国関係) 近世豊前国・筑後国編 九州大学附属図書館六本松分館	1996. 3	歴史編纂事務室報告 第18集：明治大学の学則 明治大学総務部歴史編纂事務室
檜垣文庫目録 近世筑前国編 九州大学附属図書館六本松分館	1996. 3	大学史紀要 紫紺の歷程 創刊号 明治大学総務部歴史編纂事務室
檜垣文庫目録 近代福岡縣編 九州大学附属図書館六本松分館	1996. 3	末次恒夫教授退官記念業績集 末次恒夫教授退官記念実行委員会
檜垣文庫目録 和装本編 九州大学附属図書館六本松分館	1996. 3	私の土壌学研究：1950年代回顧 和田光史
檜垣文庫目録 佐賀縣編 九州大学附属図書館六本松分館	1996. 3	中村元臣教授退官記念業績集 中村元臣教授退官記念業績集編集委員会
九州大学歯学部同窓会広報 第26号 九州大学歯学部同窓会	1996.12	大野克郎先生論文集 大野克郎

大学史料室日誌抄録 (1997年1月～6月)

1.17(金)	第15回大学史料室運営委員会開催。	東定 宣昌 石炭研究資料センター教授	
1.24(金)	第15回九州大学史料収集・保存に関する委員会開催。	2.12(水)	退官予定教官へ史料寄贈依頼文書発送。
1.31(金)	『九州大学大学史料室所蔵写真仮目録』、『他大学等関係史料仮目録』、『九州大学関係史料仮目録』、『文部省等諸団体関係史料仮目録』刊行。	2.17(月)	岡田博有理学部教授より史料寄贈。
2.1(土)	兼任教官発令(～1999.1.31)。 佐伯弘次文学部助教授 新谷恭明教育学部教授 植田信廣法学部教授 有馬 學比較社会文化研究科教授	3.5(水)	土井良宏農学部教授より史料寄贈。
		3.10(月)	『大学史料叢書』第5輯、『大学史料室ニュース』第9号、『ARCHIVES OF KYUSHU UNIVERSITY 九州大学大学史料室』(パンフレット)刊行。 川添昭二名誉教授より史料寄贈。

- 3.13(木) 旧制福岡高等学校同窓会(青陵会)より史料寄贈。
- 3.17(月) 下山房雄経済学部教授より史料寄贈。
- 3.24(月) 三谷博東京大学教授、史料調査のため来室。
- 3.25(火) 下山房雄経済学部教授より史料寄贈。
- 3.31(月) 土井良宏農学部教授より史料寄贈。『九州大学大学史料室所蔵写真目録—九州帝国大学時代—』刊行。
- 4.9(水) 川建和雄応用力学研究所元教授より史料寄贈。
歯学部同窓会より史料寄贈。
- 4.17(木) 第16回大学史料室運営委員会開催。福岡県地域史研究所より史料寄贈。
- 4.18(金) 中村亨教育学部元教授より史料寄贈。大学入試センター福岡進学情報サービス室より史料寄贈。
- 4.24(木) 第16回九州大学史料収集・保存に関する委員会開催。
平成9年度大学史料室振替要求書提出。
末次恒夫歯学部元教授より史料寄贈。
- 4.30(水) 有馬學委員長(室長)退任。
「大学史料室への印刷物の送付について(依頼)」を各部局事務(部長等宛て)発送。
和田光史名誉教授(元総長)より史料寄贈。
- 5.1(木) 新谷恭明教育学部教授、九州大学史料収集・保存に関する委員会委員長、九州大学大学史料室長に就任。
兼任教官発令(～1999.4.30)。
荻野喜弘経済学部教授
- 5.6(火) 経済学部同窓会より史料寄贈。
- 5.7(水) 杉岡洋一総長、西山尚宏秘書掛長、大学史料室視察のため来室。
- 5.8(木) 福岡赤十字病院佐藤裕氏より史料寄贈。
- 5.20(火) 中村元臣名誉教授より史料寄贈。
- 5.22(木) 森祐行工学部教授より史料寄贈。
- 5.26(月) 総務課秘書掛より史料受領。
- 5.27(火) 工学部建築学科山野善郎助教授ほか学生、写真史料を利用した授業のため来室。
- 6.4(水) 『博多独楽』記者、取材のため来室。
- 6.9(月) 橋本公夫名誉教授より史料寄贈。
青陵会、史料調査のため来室。
- 6.10(火) 予算経理委員会開催(新谷恭明委員長出席)。
- 6.17(火) 企画調査室より史料受領。
有馬學前委員長より史料寄贈。
- 6.24(火) 大野克郎名誉教授より史料寄贈。
- 6.27(金) 評議会開催(平成9年度大学史料室予算決定)。

■お願い

大学史料室では、アーカイヴスとしての充実をはかるために、学内外の印刷物、会議資料等の各種文書のほかに講義ノートのようなものや、九州大学関係者(教官・事務官・学生)についての著書・印刷物、手書きの記録などを収集しています。本号ではそうした史料類をとりあえず「九州大学関係者著書等目録」として掲載いたしました。ご覧の通りこの作業は緒についたばかりです。本学関係者にかかわる「思い出の記録」や随想、伝記、年譜、研究記録(著作目録)、退官記念パンフレットなど御自著以外でも、恩師やお知り合いの方についての史料類をお持ちの方がございましたら、大学史料室に1部御寄贈下さいますようお願い申し上げます。

九州大学大学史料室ニュース 第10号

発行日 1997年10月20日(年2回刊)

編集
発行

九州大学大学史料室
〒812-81 福岡市東区箱崎6-10-1
電話・FAX (092) 642-2292

Archives of Kyushu University

印刷 (株)サガプリンティング